

令和 **6** 年度
小学校用教科書

内容解説資料

編集の趣意と特色



せいかつ
上みんななかよし / 下なかよし ひろがれ

 教育出版

「あったらいいな!」をかなえるのが教育出版です

子どもも! 先生も! 生活科の学び方が『見える』教科書

これまでの『生活科』を大切にしながら、
一歩先の新しい『生活科』へと踏み出す教科書です

編集にあたって

新型コロナウイルスの出現、一人一台端末の整備など、
この数年で、子どもたちをとりまく環境は大きく変化しました。
急速に変化する時代を生きる子どもたちには、
多様性と共生し持続可能な社会を築くことが求められています。
わたしたちは、一人一人の子どもたちが自分らしさを発揮して、
「学びに向かう力」を育むことを願い、
生活科で育む資質・能力が「見える教科書」にすることを編集方針としました。



「使う人のそばにいつも寄り添う教科書に」

その願いを虹の架け橋に込めました。

「学びに向かう力」で 輝く未来をひらく



📖 p.3

わたしたちがめざす教科書	p.2
教科書の基本構成	p.3
 生活科の学びをしっかりとらえるために 生活科の資質・能力を育む「学び方」を「見える化」	p.4
 自信をもって学び続けるために 確かな学びのつながりを「見える化」	p.12
 自分らしさを生かして輝くために 多様性を原動力とする学びを「見える化」	p.14
二次元コードコンテンツ「まなびリンク」紹介	p.18
教師用指導書の紹介	p.20
教師用デジタル教科書・デジタル教材の紹介	p.21

子どもが本来もっている 「学びに向かう力」を引き出します

いまは、わざわざ生きもの採取に行かなくても情報を集めることができます。でも実際に、生きものがいた場所にしゃがんで周りを見てみると、さあ、何が見えるでしょう。これまででもこれからも大切なのは、他者の眼になって見る、ということではないでしょうか。

見方が変われば自分が変わる。学んでってそういうことでしょう。教科書を閉じて、世界を見に駆け出したいくなる、そんな教科書であることを願っています。



養老孟司先生
(東京大学名誉教授)

子どもたちが自分で考える場と機会を設けていますか。「自分で問い、考える力」を育てるためには、教師が十分に教材研究し、子どもとともに学びを創造しようとする構えが必要です。そのために、本書が大事にしている「学び方」を「見える化」することを具現化したいものです。そして、それぞれのページから思いを膨らませ、多くの方々と協働して子どもの学びを育てていきたいと考えています。



藤井千恵子先生
(元国士舘大学教授)

これからの時代を生きる子どもたちには、常に学び続け、自分自身をアップデートする力が求められています。そのためには、自己調整学習の力を培っていくことが必要です。新しい教科書の特色は、自己調整学習の要素である「メタ認知力の育成」「学習方略の獲得」「学習への動機付け」にそれぞれ対応し、子どもたちに「学び続ける力」を育むことです。



喜名朝博先生
(国士舘大学教授)

「生活科は難しい」という声を聞きます。でも、子どもの思いや願いのありかを見つけ、それがかなうように一緒に考え、活動する。最後には自分の成長を自覚できるようにする。それをとてもやりやすいのが生活科です。教科書には、子どもは活動のきっかけを、先生は子どもの思いや願いのありかを見つけるヒントがあります。そして、活動の中でどんな力がつくのか、未来を見通す力も育む一冊になったと思います。



根本裕美先生
(日本女子大学講師)

子どもたちの学びにストーリーを持たせていますか。それぞれがストーリーを持つからこそ、気付きや感動があるのです。ときには失敗して悲しい思いをすることもありますが、でも失敗はプロセスであって、結果ではないのです。生活科は失敗から学んでいける教科だと思います。子どもたちの「やりたい」という気持ちを大切に、個性をより伸ばすことができるような教科書であればうれしいです。



宮崎倉太郎先生
(東京都武蔵野市立境南小学校校長)

子どもたちに、諸感覚を通じた心ときめく瞬間が生まれることを願っています。感性と知性は本来一体的なもの。「おもしろそう」とつぶやく子どもの興味・関心は、やがて「どうなっているのかな」「なぜかな」という疑問を、さらに「やってみたい」「できるかな」という求めや迷いを生み出します。本来、主体的な学び手である子どもの意欲と挑戦を、どう見守り、支え、深めるか。その具体的な姿が見えるよう、多彩なアイデアが掲載できました。



小林宏己先生
(早稲田大学教育・総合科学学術院教授)

子どもの学びで最も大切なことは、「学びとは何か」の理解です。自ら課題を見つけ、予想し、解決策を考え、挑戦し、結果を確認する。この繰り返し、学びに主体性を生み、学びを楽しくさせます。楽しみは自己肯定感となり、他者への優しさや多様性の受容にもつながります。生活科はそんなきっかけを与えます。本書には「学び方」を自然に学べるしかけを盛り込みました。自分にも周囲にも関心を寄せられる人になるように願っています。



池谷裕二先生
(東京大学教授)

教科書の基本構成

「学び方」のステップが、自然に身につき、学習意欲を引き出す構成です。

動機付け

導入

何を学ぶか

単元名



わくわくスイッチ

はっけんロード

単元インデックス

上 p.10-11

自己決定

学習活動

どのように学ぶか

重点的に
育てたい力

「学びのポケット」
誘導アイコン

小単元名

上 p.12-13



・思考力を磨く「ヒント」
・約束やマナー
・衛生面や安全面

これらの大切な情報は必ず奇数ページの右側に配しています。

自己肯定感

振り返り

なにを
かんじたかな

上 p.20-21



ぐんぐんはしご

家庭や
地域との連携

メタ認知

何ができるようになるか

もしも

知識と体験を結びつけることを呼びかけています。

上 p.116-117



他教科との関連

学習を結びつけることを呼びかけています。



生活科の学びをしっかりとらせるために

生活科の資質・能力を育む

1

単元導入「わくわくスイッチ」で、生活科で最も難しいといわれている学習の動機付けができます

▶子どもたちにとっては

遊び心のある「しかけ」を通して、経験を呼び起こしたり、自分の思いを考えたりしながら、「うん!やってみよう」と学習のイメージをもつことができます。

▶先生にとっては

子どもの経験や関心・意欲を見取る発問として活用できます。「いいえ」が続く子の背景や思いを見取り、「どうしてそう思ったのかな。」「友達と一緒にやってみようよ。」と支援をすることができます。



「授業の動機付けが
難しい」に
応えました!

10

わくわくどきどき
しょうがっこう

きれいにさいてね
わたしのはな

きせつと なかよし
はる・なつ

なかよく なるうね
小さなともたち

きせつと なかよし
あき

「学び方」を「見える化」

「わくわくスイッチ」は、子どもの多様な思いや願いを言葉にして、みんなで動機付けを共有するための新しい手法です。動機付けをあいまいにすると「やらされている体験活動」におちいってしまいます。「今日は教科書の〇ページから始めるよ」とスタートできない生活科。でも、「わくわくスイッチ」なら、「〇ページを見てお話ししようか」とスタートできます。

わくわくすいッチ

すたあと

にゅうがくして
わくわくして
いるかな。



はい

がっこうの「！」
はてな
「？」をたくさん
みつけよう。



がっこうのことを
しりたいですね。

いいえ

どきどきを
わくわくに
かえていこう。



6ねんせいのおねえさんはどこにいるのかな。



わたしが
いって いた
ようちえんより
ひろくて
どきどきするよ。



わくわく
すいッチ

● わくわくシート

「わくわくスイッチ」から、学習の振り返りまでをつなげるワークシートがリンクしています。学習の進め方を、自分で選び、調整し、習得することを助けます。(本書p.19に詳しい説明があります。)



● わくわくスイッチ

各単元のとびらに設けています。「おもしろいことに出会えそうだ」と期待感をもって学習してほしいという願いを込めて「わくわくスイッチ」と名付けました。

● はっけんロード

詳しい説明は、本書p.10にあります。

● 単元インデックス

1年間の学習を見通すことを助けます。

がっこうのなかを
たんけんだ!

はっけんろーど

かぞくにこここ
たい
大きくせん

きせつと なかよし
ふゆ

なんが
もう すく 2年生

2 小单元「サイコロ」で、「めあて」をもって学習に取り組むことができます

▶子どもたちにとっては

「めあて」をもって学習に取り組むことで、本来もっている力を発揮できます。

▶先生にとっては

「めあて」にそった学習になっているか、見取り、指導や評価をする際のヒントになります。

●サイコロ

学習活動で、特に発揮すると効果的な「力」を示しています。



がっこうを たんけんしよう

まなびのほけつど 117ページ 1

こうていには なにかあるのかな。



「この活動のポイントが
つかめない」に
応えました!

「サイコロ」は、子どもや先生、保護者にも、見た人全てに学習の「めあて」をつかんでもらうための、アイキャッチマークです。生活科は、うっかりすると「ただ遊んでいるだけ」になってしまいます。生活科の教科目標から、子どもから引き出したい「六つの力」を抽出して、生活科だからこそ身につけることができる資質・能力を育みます。



がっこうのなかも みてみたいな。



やくそく

かだんのはなをとらない。



みんながみえるばしょであそぼう。



ろうかははさみ

はしらない。



さわがない。



みぎをあるく。



コラム

大切な情報は一目でわかるようにページの右側に置いています。

やくそく

体験学習の中で身につけていく知識や技能、マナーを示しています。

ひんと

「見つける、比べる、たとえば、試す、見通す、工夫する」などの多様な学習活動を「ひんと」で示しています。

保護者への明記

保護者にも生活科の学習内容を伝える工夫をしています。

保護者のみなさまへ

生活科の学習目標について

生活科は、体験を通して、自分自身、身近な人々、社会、自然について、一体的に学ぶ教科です。

特に、この教科書では、本来、子どもたちにそなわっている

六つの力[★]を

ひき出すことを大切にしています。

①きづく
②しぶんで
できる

何を学ぶか
(知識・
技能の基礎)

③かんがえる
④つたえる

どのように
学ぶか
(思考力・判断力・
表現力等の基礎)

⑤ちようせん
する
⑥じしんを
もつ

何ができる
ようになるか
(学びに向かう力・
人間性等)

3 単元末「なにを かんじたかな」で、
意欲や自信をもって次の学習活動へつなげます

➡子どもたちにとっては

「はじめてわかったよ。」「もっとこうしたい。」「振り返り方が定着することで、学び方が変わります。

➡先生にとっては

評価が難しい生活科。だからこそ、子どもの気づきをのがたくありません。教科書を活用して振り返りができます。

「生活科で何が
育つんだろう」に
応えました！



●書き込み欄

学習を通して、感じたことやわかったことなどを自分の言葉で表現できるようにしています。



なにを かんじたかな

まなびの ぽけっと
117ページ



はてな びっくり
「？」「！」をつたえたいな。



ふしぎに
おもったことを
はなします。

おどろいたことを
くいずにします。
これはどこに
あるでしょう。



みつけた ことを あつめたいな。



まだ
いっていない
ところも
あるね。

〇〇しは
どこに
あったかな。



がっこうを たんけんして みつけた こと



「なにをかんじたかな」は、一人一人が学んだことをみんなで共有して、「気づき」をもとに考えるための特別なページです。「感じる」は、諸感覚を通して全身で受けとめている「考える」の第一歩です。メタ認知を育むことができるように、「気付いていることに気付く」ことに重点を置いています。

もっと もっと しりたいな。



がっこうのことが
すこし わかって
わくわくして きたよ。

はやく〇〇しつを
つかって みたいな!

おきにいりの
ばしょが
できた!
みんなは?



これから
がっこうが
たのしみです。



つたえたいな

がっこうの なかを たんけんしたんだよ。



がっこうに
おきにいりの
ばしょや ひとを
みつけたかな。

くんぐん
はしご



●なにを かんじたかな

自分との関わりでとらえた見方・考え方を育むページです。言語活動、絵、カード、身体表現など、どんな方法で伝えたいか考えることができるように表現活動を豊富に例示しています。

●ぐんぐんはしご

教科書全体を貫いて登場します。「はしご」を登っているキャラクターの言葉や位置をヒントにして、自己評価をします。「はしご」の下には単元のめあてを配し、「はしご」の上部を突き抜けさせて、子どもたちの意欲を高く維持したまま、次の単元へ進むことを促しています。

●つたえたいな

生活科を「生活化」できるように、学習したことを家庭や地域へとつなげています。

4 教科書を貫く「はっけんロード」で、主体的・対話的で深い学びへと導きます

子どもたちにとっては

「はっけんロード」をたどりながら、学習をとらえることができます。

先生にとっては

「はてな」のセリフをヒントに、学習を進めることができます。



● はっけんロード

学習活動のページに「ロード」を記しています。指でなぞったり、目でたどったりして、学習の友達「いぐら」とともに生活科の学習を進めます。



● 子どもたちと一緒に学習する「いぐら」

「なんだ?!この生きものは?!」思わず聞きたくなる不思議なキャラクター。さて、子どもの反応はどうでしょう。きっと、こう言います「あ!“いぐら”だ!」。「いぐら」は、素直な驚き、喜び、困惑をつぶやく、子どもを代表したキャラクターです。

「いぐら」について

絵本「コンガラガッチ どっちにすすむ?の本」シリーズや4コマ漫画「あたまがコンガラガッチ劇場」などで子どもたちに大人気のキャラクター。作者はNHK Eテレ「ピタゴラスイッチ」を企画制作する「ユーフラテス」。

なにを みつけたかな。

- はじめてみたもの
- はじめてさわったもの
- はじめてはなした せんせい
- そのほか

● はてな

「はてな」は子どもに具体的な問いを投げかけ、気付きの質を高めるキャラクターです。記述式やチェックボックス式の問いで、子どもたちに「なぜ」「どうしたい」を問いかけます。





自信をもって学び続けるために

確かな学びの つながりを「見える化」

生活科の見方・
考え方を生かした
「学び方」を
提案しています!

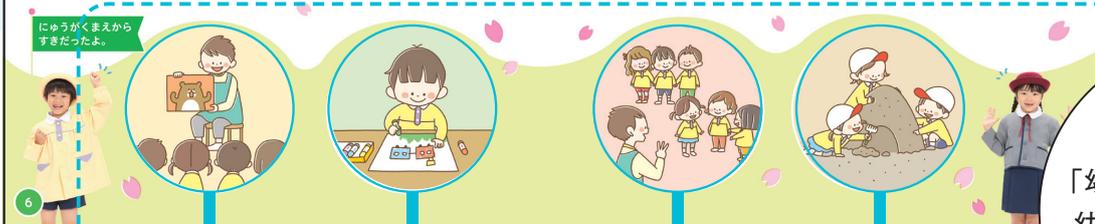
1 生活科を中心に教科の枠を外した「スタートカリキュラム」で、 幼児期からの学びを小学校教育へとつなげます

● 幼児期に、遊びを通して総合的に育てていた「学びの芽」を指導に生かすことができます。

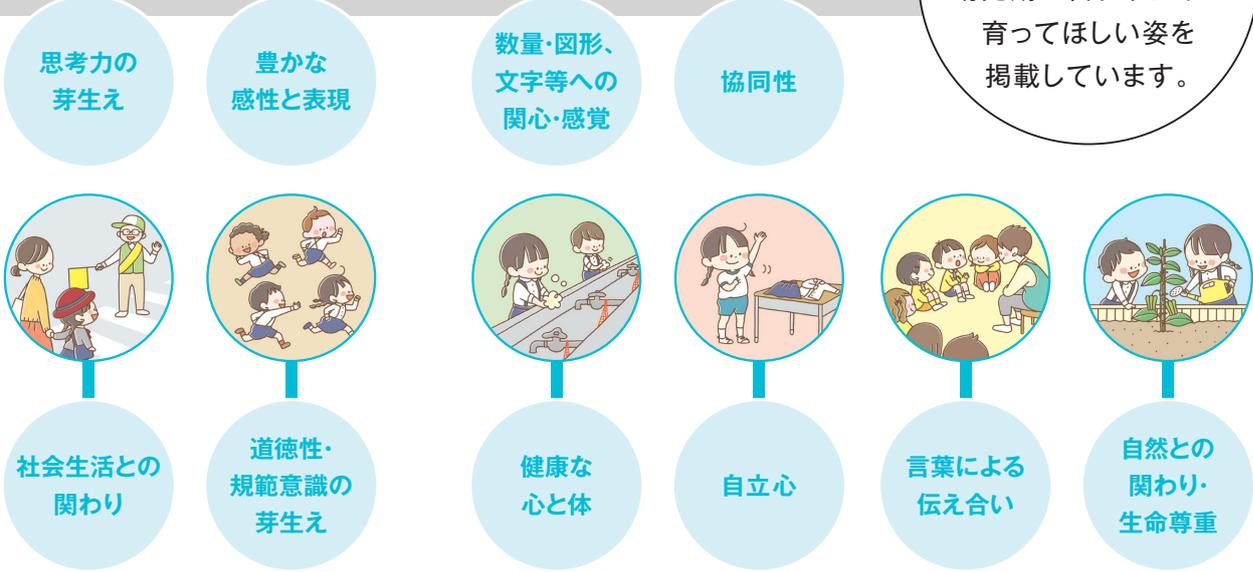
上 p.6-7



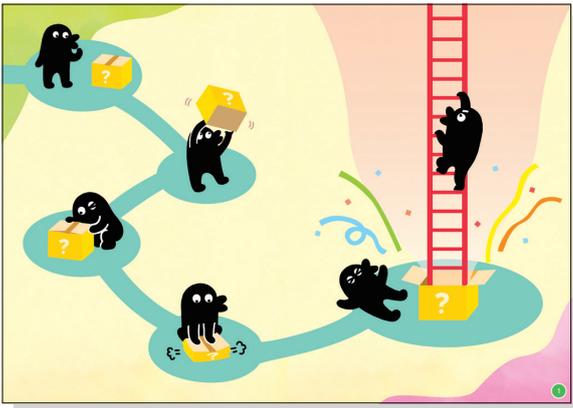
上巻では、「スタートカリキュラム」について子ども目線で解説している動画を見ることができます。



10の姿
「幼稚園教育指導要領」
幼児期の終わりまでに
育てほしい姿を
掲載しています。



2 幼児期から親しんでいる「絵本」で、生活科のイメージを膨らませます



上表2-p.1



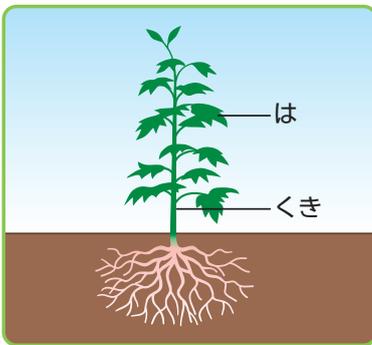
下表2-p.1

3 「はってん」コラムと特設ページで 中学年以降へ学びをつなげます

はってん 3年

理科へのまど

なえは どうなっているのかな。
ほかの しょくぶつも 同じかな。

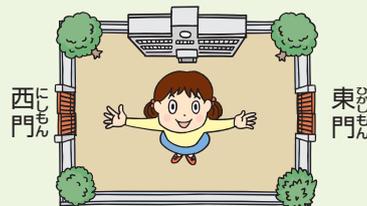


下 p.9

はってん 3年

社会科へのまど

みんなの まちや 学校に
「東」「西」「南」「北」が
つくところは あるかな。
どうして そう よぶのかな。



下 p.31

4 想像力と創造力を 磨く「もしも」で知識と 体験を結びつけます



5 学習の基盤となる知識や技能を掲載した 「学びのポケット」で他教科との学習をつなげます

- 見通しづらいカリキュラムマネジメントをサポートします。

● 学びのポケット

上巻・下巻ともに巻末には『学びのポケット』を配しています。
合科的・関連的な指導の目安となる教科のアイコンをつけ、生活科
で身に付けたい知識や技能の習得を促す紙面構成です。





自分らしさを生かして輝くために

多様性を原動力とする 学びを「見える化」

先生と一緒に、
今日的課題に
向き合います!

1 教室内の多様性と自分らしさを大切にしています

● 自分と異なる立場や考えを尊重する心を育みます。



↑ p.96

**特別な支援を必要とする
児童への配慮
(インクルーシブ教育)**

一人一人が自分の
思いや願いを伝えたい
方法で表現できるように、
多様な表現方法を
例示しています。



↑ p.57



↑ p.63

2 目にとまる魅力的な資料で、子どもの心を揺さぶります

- 持続可能な社会に向けて一人一人が自分でできることに気付かせます。



📖 p.50-51



📖 p.72-73

自然の尊さを実感したり、多様性を尊重したりする活動や資料を通して、質的な豊かさで新たな価値を生み出すことができる工夫をしています。

SDGsへの取り組み (持続可能な社会)

SDGs はってん

わたしたちがつくる
じぞくかのうな せかい

SDGsは、よりよいみらいをつくるためにせかいの人たちがきょうかしてとり組む 目ひょうです。「自分はどんなことができるだろう。」と 考えて 行どうすることが 大切です。

ごみを出すときは 分べつする リサイクル

紙パック	プラスチック	かん	びん
紙	PE PET	アルミ スチール	
あらい			
分けて出す			
新しい紙	新しいせいびん	新しいかん	新しいびん

生まれかわる

123

● SDGsマーク

SDGsの関連ページにSDGsマークを付け、下巻末の「学びのポケット」ではSDGs 17の目標を掲載しています。(下巻裏表紙の二次元コードからは、先生と保護者に向けた動画が視聴できます。)

リフューズ、リデュース、リユース、リサイクルの4Rを掲載し、生活の中で習慣化できるようにしています。

📖 p.123

3 健やかに生活するための行動を促しています

- 子ども自らが健康管理を意識できるように
健やかに生活するための生活習慣を掲載しています。

「早寝・早起き・朝ごはん」などの基本的な生活習慣や、感染症などの病気予防のための「手洗い6つのタイミング」、換気・咳エチケット、毎日の検温についてを特設しています。



「正しい手の洗い方」の動画を「まなびリンク」で見ることができます。

● 手洗い・うがいマーク

動植物に関わる活動前後に手洗い・うがいを促すマークを配し、衛生面やアレルギー反応への注意喚起をしています。



下 p.125

9

けんこうな生活

手のあらい方

けんこうな生活

早ね早おきをする。

朝 おきたら 窓をあけて 空気が かわる。

朝ごはんを しっかりと 食べる。

石けんを こまめに 手を あらう。

空気の 入れかえをする。

きゆうな くしやみや せきの ときは おさえる。

こんな ときに 手を あらおう

外から 教室に 入るとき

せきやくしやみ、 はなを かんた とき

きゆう後の 前と 後

そろじの 後

トイレの 後

みんなて つかう ものを さわった とき

125

- 子ども自らが自分を守るために、防災・安全につながる行動を具体的に掲載しています。

10

おぼえて あんぜん

とくべつ 活どう

いろいろな もしもの とき

地震

ゆれが おさまるまで、つくえの下で 頭や 体を まもる。

かみなり

たてものの中へ にげる。

雨・川の にごり・そう水

すぐに 川から はなれる。

火じ

ひくいせいになって、ハンカチで けむりを ふせく。

天気 の へんかから 気づこう

きゆうに 風が つめたくなる。

きゆうに 曇りが出て ぐらくなる。

遠くで かみなりが 聞こえる。

かくにんしよう

マイ・タイムラインを 家の 人と いっしょに かくにんしよう。

おちてくるもの、たおれてくるもの、うごいてくるものからはなれる。

ひなんの ときの やくそく おかしもの

お さない

か けない

し やべらない

も どらない

126

127

下 p.126-127

4 ICTを活用して、いっそう生活科らしく、追究し、共有し、表現します

● 一人一台端末の効果的な活用例を豊富に掲載しています。



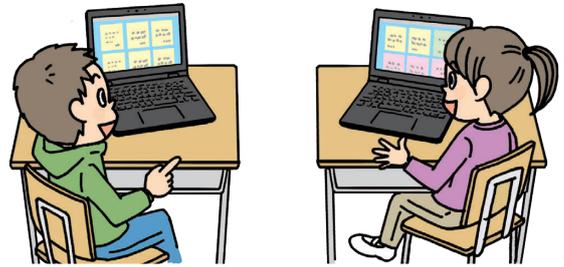
下 p.13

二次元コードを読み取ると、「まなびリンク」につながります。
 (「まなびリンク」については本書p.18-19参照)



下 p.9

どういう用途で使っているのかわかるように、端末の活用場面には、セリフを入れています。



● ICT機器の活用方法を上下巻ともに最後のページに詳しく記載しています。

11 コンピュータをつかうとき

いろいろな じょうほうき

タブレット

ノートパソコン

電子黒板

プロジェクター

ウェブカメラ

スクリーン

いろいろな つかい方

記ろくする

しゃしんやどう画をさつえいする。

ちゅうい

● 正しくないじょうほうにちゅういする。

画めに直せつ文字などを書く。

しらべる

ズームして大きく見る。

オンラインで話す

はなれている人と話すことができる。

はっぴょうする

大きくうつしてせつ明することができる。

どう画をとる

どう画をさつえいして、はっぴょうのれんしゅうにつかうことができる。

考えをあとめる

なだちが思ったことと自分が思ったことを画めんの中てくらべるができる。

ルールと マナーを まもって つかおう

- ていねいにあつかう。
- つくえのしに おかない。
- じゅう端が できているか かくにんする。
- 近づいて 見すぎない。
- 長い 時間 つかわない。
- 人の いやがる ことを 書かない。

下 p.128-129

子どもが健康的にICT機器を活用できるように、使用上の注意についても明記しています。

17

もっと
知りたい!
に
応える

「まなびリンク」で、 個別最適な学び、 協働的な学びを実現します

弊社発行教科書の二次元コードからリンクするコンテンツを「まなびリンク」と呼びます。
子どもたちの学びを深め、広げるようなコンテンツを充実させました。

大きく分けて、**動画・ワークシート・デジタルずかん**の3種類のコンテンツを用意しています。
全てが自社サイトコンテンツのため、不要な広告や課金サイトへの誘導がなく、学校でも家庭でも安心して安全に使用できます。

▶ 動画

きょうかしょを
ひらいて みよう



教科書の使い方をわかりやすく解説

生活科の経験が浅い先生も「生活科ってどんな学習をするんだろう」と思っている保護者にも、学習の流れや教科書構成がわかります。上下巻ともについているコンテンツです。



はじめての いっぽ



「スタートカリキュラム」をわかりやすく解説

幼児期の体験と小学校生活がどのように持続するのかを解説しています。



こうていを
たんけんしよう



学習の観点をナビゲート

ポイントを捉えにくい生活科の学習の観点をナビゲートしています。音声ナレーション付きで、家庭学習もできます。



わたしの まちの 自まん



各地域の行事や特産物を紹介

各地域の行事や特産物を、地元を支える人たちが紹介しています。さまざまな地域の特性に気付いたり、自分たちの生活に目を向けたりすることができます。



p.34-35

ワークシート

「わくわくスイッチ」と「もしも」に授業をサポートするワークシートをつけました。
 端末にダウンロードして画面上で記入し、保存ができます。パソコンの機能や、授業支援ソフトを活用すると、
 子どもどうしや、子どもと先生の間で意見交流や共有ができます。

わくわくスイッチ
わくわく ときどき しょうがっこう

ねん くら 谷まえ

わくわくスイッチ

すたあと

1 1がっこうの「あ」をたくさんみつけよう。

2 ときどきをわくわくにきえていこう。

わたしのたどりついたばんごう

わくわくシート

いぐらドリル

ねん くら 谷まえ

もしも

1年まえのじぶんとあえるかがみがあったら。

?!
 どんなことがわかったのか、はなしかけるようなことばでかいてみよう。えてえがいたり、1年かんのじぶんのしゃしんを はって も いいですね。

あっ! ぼくおあきくなってる。
 かわったのはしんちょうだけじゃ ないぞ〜。

いぐらドリル

デジタルずかん

100種類以上の動植物を名前や色、季節で検索することができます。低学年に適した表記や表現、鮮明な写真で、
 子どもたちの興味や関心を引きつけます。自分で知りたいことを調べる自学自習の力を育みます。

二次元コードを読み込むと

はらざかん

ようちゅうは どこに いるのかな?

上 p.50-51

デジタルずかん

草花 ずかん

虫や鳥 ずかん

教育出版

Copyright © RYOKU SHUPPAN Co., Ltd. All Rights Reserved.

コヒルガオ【ヒルガオ科】

草花ずかん

花が見られるきせつ
 春～夏 (5～8月)

花の大きさ
 30～40 mm

葉の形
 ほこ形

ぜん体の高さ
 2 m 以上

見られる場しよ
 野原、道ばたの草地

カブトムシ【コガネムシ科】

虫や鳥ずかん

せい虫が見られるきせつ
 夏 (6～8月)

見られる場しよ
 クヌギのある林など

大きさ
 32～53 mm
 (頭の先からはらの先まで、角をのそく)

食べもの
 クヌギなどのじゅえき、くさったもの
 よう虫: たいひなどのくさったしよぶつ

先生方の「こんな指導書が
ほしかった!」をカタチにするため

教師用指導書の紹介

総説編

「生活科」の教科・授業研究を、
新しい視点と
表現方法で解説。生活科に
わくわく取り組むことが
できるヒントが
つまっています。

朱書編 デジタル朱書編

授業展開や
支援・指導例を
具体的に示しています。

指導案編

教科書展開にそって、
指導案を提案しています。
指導案は、リライト
できるようにデータ化
しています。

実践事例編

生活科の教科特性を
テーマにした
実践事例を掲載しています。
日々の指導に役立つ
事例集です。

ワークシート編

教科書掲載カードや
補助ワークシート、リライトして
使う保護者への手紙文案など、
授業をサポートする素材を
掲載しています。

指導者用 デジタル教科書 (教材)

実写動画やアニメーションなど、
授業をサポートする
多彩なコンテンツを
搭載しています。

発行予定であり、変更になる場合があります。

デジタル朱書編、はじめます

令和6年度版から教師用指導書セットで
デジタル朱書編(データ配信版)を提供。

デジタル朱書編の特徴

① 先生どなたでも使用できる

複数の先生が同時に使用できます。

② 書き込み・保存ができる

アカウントごとに書き込み・保存ができます。
書き込みデータを他の先生と共有することもできます。

③ 文字検索

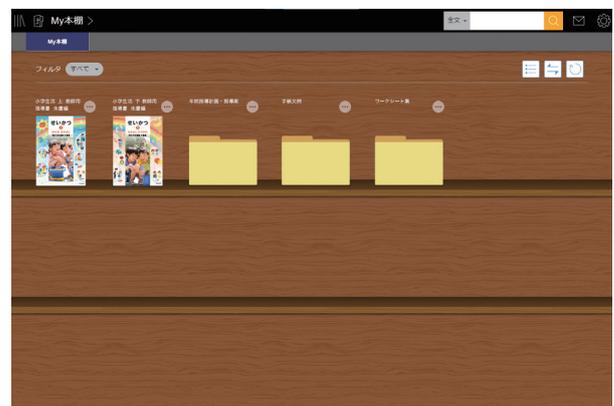
調べたい文字を検索して、
該当ページを直に開くことができます。

④ 複数の端末でアクセス

クラウドでの提供なので、場所を選ばず、
必要なときにアクセスできます。

⑤ 自作の資料を保存

My本棚に自作のプリント資料などが保存できます。



← 本棚画面



← デジタル朱書編画面

掲載画像は開発中のものです。予告なく変更することがあります。

デジタル教科書・デジタル教材の紹介

指導者用デジタル教科書(教材)

教科書紙面をプロジェクターや電子黒板等で提示することで、教室全体で同じ紙面を同時に見ながら授業を進めることができます。

※教師用指導書の一部として提供します。



紹介ページはこちら

ツールバー

見たい部分を拡大したり、ペンやマーカーを使って自由に書きこんだりできます。



コンテンツ

動画や音声等のデジタルコンテンツが、紙面から直接起動します。

活動に役立つ実写動画やアニメーション

身近な生き物の動画や、安全面の注意を促すアニメーションを収録しています。活動前に児童に興味をもたせたり、注意をひきつけたりすることができます。



あげはちょうともんしろちょうがはなのみつをすっています。

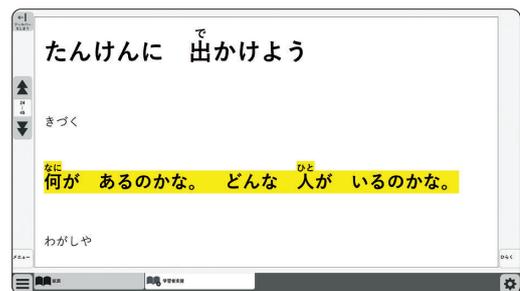
アゲハチョウとモンシロチョウ



バスにのりときの注意点

学習者用デジタル教科書

児童が自分の手もとで、興味のある部分を自由に拡大したり、活動の記録をペンで書き残したりすることができます。また、本文の自動音声読み上げや、ふりがな、分かち書き表示などのさまざまな機能が一人一人の学びを支援します。



本文がハイライト表示され、どこを読み上げているのか一目でわかります。

掲載画像は開発中のものです。予告なく変更することがあります。



学びのチカラで人と社会を未来へつなぐ
 自ら問い、考え続け、社会を創っていく子どもたちを育てたい。
 そのような思いをこめて、私たちはこの教科書をつくりました。

子どもたちの多様性や未来への希望を映して輝く虹。その合間からのぞく、互いを尊重して学び合う子どもの姿。二人の声に、そっと耳を傾けてみましょう。そこにはきっと、想像を超える豊かな学びがあります。詳しくはp.1（本冊子の表紙裏）をご覧ください。

著者の紹介

【著作関係者】

●監修

養老 孟司 東京大学名誉教授
 藤井千恵子 元国土館大学教授

●編集・執筆

飯沼 慶一 学習院大学教授
 池谷 裕二 東京大学教授
 石井 英真 京都大学大学院准教授
 石塚 等 横浜国立大学教授
 大坪 靖直 福岡教育大学教授
 大野 恵美 神奈川県川崎市立宮崎台小学校校長
 大宮 健一 北海道札幌市立南郷小学校校長
 大村龍太郎 東京学芸大学准教授
 小俣めぐみ 東京都江東区立北砂小学校主幹教諭
 片平 克弘 筑波大学特命教授
 加藤 秀樹 北海道札幌市立南月寒小学校校長
 角屋 重樹 広島大学名誉教授

喜名 朝博 国土館大学教授
 木下 博義 広島大学准教授
 小林 宏己 早稲田大学教育・総合科学学術院教授
 小林 美代 神奈川県川崎市立鷺沼小学校校長
 齊藤 和貴 京都女子大学准教授
 佐々木健志 琉球大学博物館(風樹館)助教・学芸員
 関澤 里織 東京都中央区立久松小学校指導教諭
 田代 高章 岩手大学教授
 玉井 康之 北海道教育大学副学長・教授
 寺崎 千秋 元東京都練馬区立光和小学校校長
 永野むつみ 東京都江東区立第二亀戸小学校副校長
 根本 裕美 日本女子大学講師
 橋本 靖子 東京都葛飾区立柴原小学校主幹教諭
 藤森 克彦 東京都品川区立大井第一小学校校長
 松浦 拓也 広島大学准教授
 丸山 英樹 上智大学教授
 水上 丈実 北海道教育大学教職大学院特任教授

宮崎倉太郎 東京都武蔵野市立境南小学校校長
 渡辺 径子 上越教育大学准教授
 ●幼児教育との接続に関する編集・執筆
 汐見 稔幸 東京大学名誉教授
 山名 裕子 秋田大学教授
 教育出版株式会社

【特別支援教育監修】

名越 斉子 埼玉大学教授
 【SDGsとESDに関する校閲】
 手島 利夫 元東京都江東区立八名川小学校校長
 馬奈木俊介 九州大学主幹教授
 【人権の配慮に関する校閲】
 笠原 嘉治 中村学園大学特命教授

新しい教科書の
特設サイトは
 こちらから！



教育出版ウェブサイトからもアクセスできます。

まなびリンク

授業で役立つ動画や音声、資料を活用できる無料のコンテンツはこちら！



本社	〒135-0063 東京都江東区有明 3-4-10 TFT ビル西館	TEL : 03-5579-6278 (代) / FAX : 03-5579-6444
北海道支社	〒060-0001 札幌市中央区北 1 条西 7 丁目 1 プレスト 1・7 2F	TEL : 011-231-3445 / FAX : 011-231-3509
函館営業所	〒040-0011 函館市本町 6-7 函館第一ビルディング 3F	TEL : 0138-51-0886 / FAX : 0138-31-0198
東北支社	〒980-0014 仙台市青葉区本町 1-14-18 ライオンズプラザ本町ビル 7F	TEL : 022-227-0391 / FAX : 022-227-0395
中部支社	〒460-0011 名古屋市中区大須 4-10-40 カジウラテックスビル 5F	TEL : 052-262-0821 / FAX : 052-262-0825
関西支社	〒541-0056 大阪市中央区久太郎町 1-6-27 ヨシカワビル 7F	TEL : 06-6261-9221 / FAX : 06-6261-9401
中国支社	〒730-0051 広島市中区大手町 3-7-2 あいおいニッセイ同和損保広島大手町ビル 5F	TEL : 082-249-6033 / FAX : 082-249-6040
四国支社	〒790-0004 松山市大街道 3-6-1 岡崎産業ビル 5F	TEL : 089-943-7193 / FAX : 089-943-7134
九州支社	〒812-0023 福岡市博多区奈良屋町 2-1 博多蔵本太田ビル 4F	TEL : 092-282-1150 / FAX : 092-282-1160
沖縄営業所	〒901-0155 那覇市金城 3-8-9 一粒ビル 3F	TEL : 098-859-1411 / FAX : 098-859-1411

本資料は、文部科学省による「教科書採択の公正確保について」に基づき、一般社団法人教科書協会が定めた「教科書発行者行動規範」に則り、配付を許可されているものです。



<https://www.kyoiku-shuppan.co.jp/index.html>

